

# 植田社長、なぜ

「さあ、街から未来をかえよう」  
なんですか？

植田 「三井のすずちゃんは、慣れましたか？」

広瀬 「はい、毎回どこに行くんだろう、と楽しみにしています」

植田 「そうですか、それはよかったです」

広瀬 「新しいコーポレートメッセージですが、どうして『さあ、街から未来をかえよう』になっただですか？」

植田 「4月1日に新しい経営理念を策定しました。この言葉はその経営理念を凝縮したものですで、よりよい未来に向けて様々な人々を巻き込みながら「緒になって街から未来を変えていきたい」という強い想いが込められています」

広瀬 「巻き込もうっていいですね」

植田 「ありがとうございます。ロゴマークの『&』も新しくなり、モチーフの「つ」は着物の帯、強さとしなやかさを表しています。当社のロゴマークは、ORではなくてAND。あれこれかではなく、あれもこれを取り込んでいく柔軟な姿勢を表現しています。

三井不動産グループがつくっているものは、建物や街と言つていたくことが多いのですが、実際にはその先にある形のないもの。単に建物や街をつくる『不動産デベロッパー』ではなく『産業デベロッパー』であります。私は『おせつかない大家』とよく言うのですが、ただ不動産を貸すだけではなく、その街に集まる人々や企業のイノベーションや付加価値向上のお手伝いをして、共に成長していくといった思つてします」

広瀬 「私もCMでいろんな街を巡つて、街づくりって幅広いんだな、と思つました」

植田 「広瀬さんは映画やドラマで観た人の心を動かすのがお仕事だと思いますが、私たちは街づくりを通じてそこに集まる人々の心を動かしたい、と思っています」

広瀬 「お芝居とは全然違うものだと思っていましたが、同じなんですね」

植田 「人の心を動かす、という話でいいますと、スポーツの効果もとても大きいと思っていました。スポーツには街の中に新たな絆を生み出し、コミニティを活性化する力がある。スポーツはシナリオのないドラマと言いましたが、スポーツの持つ力というのは本当に無限大だと思います」

広瀬 「とてもそう思います」

植田 「まもなく、千葉の南船橋にバスケットボールBリーグの千葉ジェッツさんの本拠地である『LaLa arena TOKYO BAY』がオープンします。当社としても初めての本格的なアリーナですので、我々もワクワクしています」

広瀬 「私も小学校の時からずっとバスケをやってるので、すごく楽しみです」

植田 「スポーツと同様に、不動産の域を超えて、るという意味では、我々は日本橋を中心に行なうライフサイエンスや宇宙ビジネスの分野でイノベーション起こすお手伝いをしていきます。江戸時代から薬の街だった日本橋を『ライフサイエンスの聖地にしよう』と頑張つてきて、その後に取り組んだのが、宇宙です。JAXAさんの拠点の一つも、日本橋にあるんです」

広瀬 「新しいCMのテーマですね」

植田 「新しいCMでは『宇宙と三井不動産?どういう関係だろう』と、びっくりされたと思います」

広瀬 「最初に聞いた時は『宇宙?』って思つたんですけど、街づくりで宇宙産業を応援しているのですね」

植田 「宇宙ビジネスは、ロケットのエンジン開発から宇宙食まで、非常に裾野が広くて総合力が必要な産業なんです。これらを一つの場所に集めて、連携しながらプロジェクトを進めしていくことは大きなメリットがあります。将来は火星の開発に我々の力が求められる時代もきっと来ると思います」

広瀬 「まさに『宇宙での街づくりがいよいよ始まるのです』ですね」

植田 「CMのあのセリフ、私も大好きです。私は妄想、構想、実現』という言葉が好きなんですが、一人一人の実拍子もない妄想でも、そこに大義があれば仲間が集まつてきてそれが構想になり、実現につながっていく。これが社会のイノベーションとなり、三井不動産グループの未来に欠かせない大きな力になると信じています」

広瀬 「誰かの妄想をみんなで実現するって素敵ですね」

植田 「『さあ、街から未来をかえよう』これからも、三井のすずちゃん、よろしくお願いします」

広瀬 「こちらこそ、よろしくお願ひします」

広瀬 「こちらこそ、よろしくお願ひします」



# さあ、街から未来をかえよう

**三井不動産**  
MITSUI FUDOSAN